

平成26年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立向陽小学校

<p>教育目標(めざす児童生徒像)</p> <p>心豊かでたくましく生きる子どもの育成</p> <p>【めざす子ども像】 よく考える子 助け合う子 元気な子</p>	<p>今年度の指導の重点</p> <p>(1)学ぶ意欲の育成、基礎基本の定着 基礎学力を定着させる。 モデルを示し、「聞く力・話す力」を身につけさせる。</p> <p>(2)心の教育の充実 基本的な生活ルールを身につけさせる。 協力・協働場面を多く取り入れ、人間関係力を高める。</p> <p>(3)体力向上と健康増進 運動の機会を充実させ、体力運動能力の向上に努める 基本的な生活習慣の確立をめざす。</p>
<p>調査結果について(調査結果において明らかになったこと)</p>	
<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国 国語A、算数A共に全国平均を上回るが、国語B、算数Bは県平均を下回る。 漢字を書いたり故事成語の適切な使い方を選択することは全国平均と比べ、かなり高い。 文を内容を解釈したり、要約したりすることが、全国平均を下回る。 整数、分数、小数の四則計算は、県平均を上回り、9割以上できていた。 全体と部分の関係を表すグラフや量を相対的に捉える関係性の図を選択することは全国平均と比べ、低い。</p> <p>県 国語、社会、算数、理科、4科共に正答率が県平均を下回る。 漢字の書きについては県平均を下回るが、読みについては同程度である。 数学的な考え方については県平均を下回るが、数量や図形についての知識、理解は同程度である。 算数、整数の減法・整数の性質・およその数については県平均より高い。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>テレビ等の視聴時間は県平均に比べ、高い。 家庭学習の時間については、全くしない児童は県平均と比べ同程度であるが、1時間以上勉強する児童は県平均より、少ない。 読書時間については、県平均より少ない。 朝食を毎日食べている児童が9割以上いる。 学校に行くことが楽しいと感じている児童が9割以上いる。 すんでいる地域の行事に参加している児童の割合が高い。 近所の人にあいさつをしている割合が県平均よりも高い。</p>
<p>成果と課題</p> <p>漢字の読み書きについては、学年差があるので、漢字の習熟を図るための手立てが必要。 故事成語の正答率が高かった。学級文庫にことわざや故事成語等の図書を整備したことによると思われる。 四則計算の基本的な問題を繰り返しさせたことで、「数と計算」の領域では成果が見られた。 算数の校内研究を継続し、既習事項をもとに自力解決の場面を仕組みことで、数量や図形の知識・理解が定着しつつある。 家庭学習の目標時間を設定し、「分トライ」の取組や家庭学習の手引き配布などの成果もあり、家庭学習時間の児童はなかった。しかし、宿題全員提出には課題がある。</p> <p>算数Aでは、乗法と減法の混合式(100 - 20 × 4)の正答率が高い。(本校95.2% 岡山県87.8%) 四則の混合した式の意味についての理解の正答率が高い(本校90.5% 岡山県81.7%) 国語Aでは、「漢字を正しく書く」の正答率が高い。(本校平均値84.9% 岡山県平均値78.0%) 国語Aでは、「故事成語の意味と使い方を理解する」の正答率が高い。(本校平均値64.3% 岡山県平均値46.0%) 算数Bでは、全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することに課題がある。(本校33.3% 岡山県57.6%)</p>	<p>課題に対応した改善方法</p> <p>朝学習で既習の漢字の復習を行う。 朝学習などで、短い文章を読み取ったり新聞記事の感想を書いたりする学習を行う。 朝学習で算数の既習の四則計算の反復練習を行う。 授業の中で自分の思いや考えを書く場面を設ける。 理科・社会での復習時間を確保し、基礎的、基本的な知識、理解項目はミニテスト等で反復学習を行う。 学習到達度テスト、読解力テストを単元終了後に行う。また、授業中に問題として活用したり、家庭学習の課題内容の1つとして出したりする。 授業改革推進員に授業公開を行い、指導・助言を行うことで、若手教員の授業力を向上させる。 西中学校区 ・家庭学習(宿題)の100%提出をめざす。 ・チャイム同時スタート、チャイム同時終了 ・授業に集中できる環境を作る。 ・ことばづかいとくつそろえ</p>
<p>取組の検証方法及び検証時期</p> <p>教員の「学力向上にかかわるチェックシート」による振り返り(学期ごと) アクションプランをもとに、「みんなで守ろう向陽ルール」「聞く話すばっちりカード」を作成し、児童に毎月振り返りをさせる。 学期末には集計して、クラスごととの分析を行い、次学期の取り組みの方向性を明らかにする。 児童へのアンケート(12月) 計算プリント「これっきり算数」(9月)、漢字習熟プリント「漢字検定」(1月) 計算プリント「めざせ計算名人」(2月・5月・6年)の実施</p>	<p>達成目標(数値目標)</p> <p>宿題提出100%をめざす。 国語と算数において、単元テストの期待平均値を上回る児童が8割以上をめざす。 「みんなで守ろう向陽ルール」の各学級重点項目、達成率8割以上をめざす。 「聞く話すばっちりカード」の各学級重点項目、達成率8割以上をめざす。</p>